

令和7年度第1回地区代表者会議 次第

日時：令和7年4月28日(月)19:00～

場所：リージョンプラザ南館 第2研修室

1 開会

スポーツ振興課長 挨拶

2 議題

(1) 第17回三原市民体育大会について

開催日 10月12日(日) 会場 やまみ三原運動公園 陸上競技場

①前回大会の反省点・気づき及び開催要項(案)・・・・・・・・・・ **資料1-1～2**

ア 種目について及びクラスの入れ替え数について

②申請書類について

ア 補助金交付申請等の記入例等・・・・・・・・・・・・・・・・ **資料2-1～6**

補助金申請全体の流れ、補助金交付申請書、令和7年度三原市民体育大会の補助金申請等の注意事項、補助金(概算払)交付請求書、賞金請求書、バス配車・責任者確認表、

7月16日(水)までに提出してください

イ 補助事業完了実績報告書・・・・・・・・・・・・・・・・ **資料3**

10月28日(火)までに提出してください

③今後の予定について

ア 第2回地区代表者会議

- ・日時：令和7年7月16日(水) 19:00～
- ・場所：三原市中央公民館 大講堂
- ・内容：市民体育大会ルール説明会

イ 第3回地区代表者会議

- ・日時：令和7年8月下旬～9月上旬 19:00～
- ・場所：三原リージョンプラザ南館 第2研修室
- ・内容：市民体育大会抽選会

(2) 今後のスポーツ大会の予定について・・・・・・・・・・ **資料4**

(3) その他

地区代表者・地区代表者以外変更届出書及びメールアドレスの申請/地区代表者以外送付先届出書の申請は、以下の専用フォームから手続きをしてください。

(紙媒体での申請も可能です。様式は三原市ホームページ「地区代表者会議」のページ内に掲載しています)

地区代表者・地区代表者以外変更
及びメールアドレス等の申請は
こちら



地区代表者以外送付
先届出はこちら



お問い合わせ先

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

三原市教育委員会 スポーツ振興課

TEL: 0848-64-7219 FAX: 0848-67-5912

E-mail: sports@city.mihara.hiroshima.jp

第16回市民体育大会反省点・気づき（地区代表提出分）

資料 1-1

	反省点	回答
種目について	○玉入れの数を数えるスタートが早くて困ったので、審判が旗を上げてから数えるにしたらどうか？	改善してまいります。
	○ボール運びのゴールテープが無かったのが残念だった。	改善してまいります。
	○むかでのゴールがよく分からない	改善してまいります。
	○二人三脚むかで競争はリレーゾーンの中央から5mのところのみで交代するようになっており、混雑して交代が大変だったため、10mフルで使えるようにしたらどうか？	改善してまいります。
	○リレーのバトン受け渡しのルールが厳しすぎると思った。	審判員と協議してまいります。
	○ゲートボール・グラウンドゴルフでのボールが、グラウンドゴルフのボールを使用していたが、ゲートボールの球ではなかったか。	開催要項に使用するボールを明記します。
	○ジグザグボール競争でポストの回る方向をどちらでも可にしてはどうか？	市民体育大会あり方検討会において協議され、ルールが改訂された経緯があるため、今年度は現行の種目で行いたいと考えます。なお、平行して、種目検討会の開催や各地区へのアンケート等も検討します。
	○ボール運び競争で持つ場所は塩ビパイプに限定せず、何処でも可にしたらどうか？ Cクラスの5チーム中4チームが失格になっている	
	○ボウリング競争でラケットの持つ場所を何処を持ってもよいとしてはどうか？ ○ラケットからボールが落ちた時、落ちた場所より再スタートに変更してほしい。	
	○二人三脚を中学生以上は性別関係なしにしてほしい。(ペアを探すのが大変であるため)	
	○選手集めに苦勞したので、地域の差を考慮し、再考すべきなのではないか。	

得点表示について	○競技の途中経過がわからないので途中1、2回発表してほしい。 ○得点表示のデジタル化をお願いする。	実施できるよう検討します。
その他	○選手宣誓の時、壇上に誰もいなかったのが、市長が立つべきではないか。	改善してまいります。
	○開会式が長い。	改善してまいります。
	○体調不良の対応時、本部の救護が不在だった。また、探すのも困ったので、わかりやすくしてほしい。	改善してまいります。
	○役員用の駐車場の台数を増やしてほしい。(一般駐車場が満車だったため)	台数に限りがあるため、ご理解をお願いします。
	○大会当日の補員変更について、選手名簿訂正用紙の提出が本当に必要なのか検討する余地があると思う。	検討してまいります。
	○地区在住の人しか参加資格が無いが、その地区出身の方も参加できるよう、もう少し条件をゆるくしてほしい	開催要項には事務局に相談の上、その地区にゆかりのある人及び家族の参加を認めると明記しています。一度事務局へご相談ください。
	○補助金がずっと20万円なので物価の上昇等を考慮し、増額の検討をしてほしい。	各地区の実績報告書を精査し、検討してまいります。

三原市制施行 20 周年記念事業

第 17 回三原市民体育大会開催要項（案）

- 1 趣 旨 三原市民の体力向上を図り、地域社会のスポーツ振興に資するとともに、相互の親睦を図ることを目的とする。
- 2 主 催 三原市・三原市教育委員会
- 3 後 援 三原市体育協会・三原市スポーツ推進委員協議会
やまみ三原運動公園指定管理者ポラーノグループ三原
- 4 日 時 令和7年10月12日（日）9：00～ 小雨決行
- 5 場 所 三原市沼田東町釜山253-1（☎0848-66-3900）
やまみ三原運動公園「やまみ三原市陸上競技場」

6 地 区

第 16 回大会結果		
Aクラス	1位	田 野 浦 地区
	2位	皆 実 地区
	3位	須 波 地区
	4位	幸 崎 地区
	5位	中 之 町 地区
Bクラス	1位	本 郷 西 地区
	2位	沼 泉 地区
	3位	本 郷 東 地区
	4位	沼 田 東 地区
	5位	沼 北 地区
Cクラス	1位	糸崎・木原 地区
	2位	西 野 地区
	3位	大 和 地区
	4位	三原北部 地区
	5位	深 町 地区

※三原東部地区、三原南部地区、三原中央地区、鷺浦地区は第16回大会不参加

リレー競技の統一ルール

- (1) 距離は全て一人100mとする。
- (2) スタート及びゴールは本部席側とする。
- (3) 第1走者のみ、第2コーナーまでセパレートコースとする。
- (4) 該当年齢の選手が選出できない場合は、20歳を頂点として代替出場を認める。
小学生 中学生 20歳未満 20歳以上 30歳 40歳 50歳
→ → → → △ △ ← ← ← ← ←
- (5) 第2走者は、第1走者のスタートコース順でバトンパスを行う。第3走者からは、二つ前のコーナーのコーナートップ制とする。
- (6) 同一チームがスタートで2回フライングした場合は、失格としないで3回目は1m後方に下がってスタートする。更にフライングした場合は、これにならう。
- (7) スタートの際、グラウンドに穴をあけない。
- (8) バトンパスの時、予備ゾーンは使用しない。
- (9) 次の場合は失格とする。
 - イ. 故意に走路の侵害をしたり、故意に他のチームの走者にインターフェアのあった場合。故意の有無にかかわらずそのチームに著しく有利になる場合。
 - ロ. リレーゾーン(20m)外でバトンの受け渡しをした場合。
 - ハ. バトンを手渡さなかった場合。
 - ニ. バトンパスの最中に、次走者の手にバトンが触れる前に渡そうとした走者がバトンを落とし、次走者がバトン拾って走った場合。

フィールド競技の統一ルール

- (1) スタートは本部席側とし、折り返しは観客側とする。
- (2) スタートの合図は、「位置について」・・・「ドン(ピストル)」でスタートする。(「ヨーイ」は言わない。)
- (3) 前・次走者とも、完全に5mのリレーゾーン内にいなければリレーできない。
- (4) ボールとバトンを受け渡す競技については、次走者は、リレーゾーン内でボールとバトンを持ってスタートしなければならない。もし、ボールが先にリレーゾーンを通過した場合は、次走者が取りに行ってもよい。
- (5) ボール競技では、ボールが観客席に入りそうなときは、役員がボールを止めてその位置から競技を再開する。観客席に入って投げ返された場合は、審判は競技者の近くにボールを投げ返すことができる。

共通ルール

- (1) スパイクは禁止とする。(陸上競技以外のスパイクも禁止)
- (2) 競技で使用する用具は主催者で準備したものを使用する。但し、玉入れ競争の玉、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競争のゲートボール用スティックは各地区で準備しても良い。

(3) 競技で使用する用具が、選手の不可抗力により破損した場合は、運営が速やかに予備の用具を準備し続行する。なお、用具が届くまでは破損した用具で続行しても良い。但し、種目別のルールに記載してあるものは、そのルールに準ずる。

7 競技種目

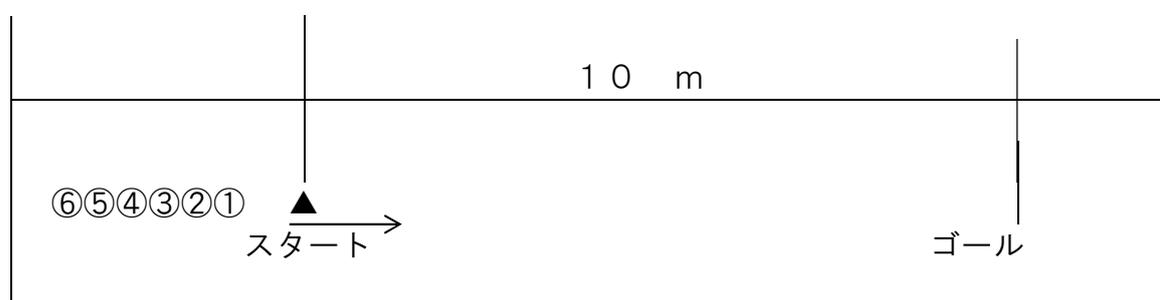
☆ 幼児かけっこ（オープン競技）

○開始予定時間 9：50

○出場者 小学生未満 各地区10人以内

* 注意 オープン競技のため、得点はつけない。

○競技方法 (1) スタート地点から10m先にあるゴールに向かって走る。
(2) ゴールしたら、参加賞を渡す。



1 小中学生混合リレー

○開始予定時間 10：05 ○継走距離 800m

○出場者 小・中学生 男・女各2人 計8人

* 注意 1. 学年は自由
2. 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

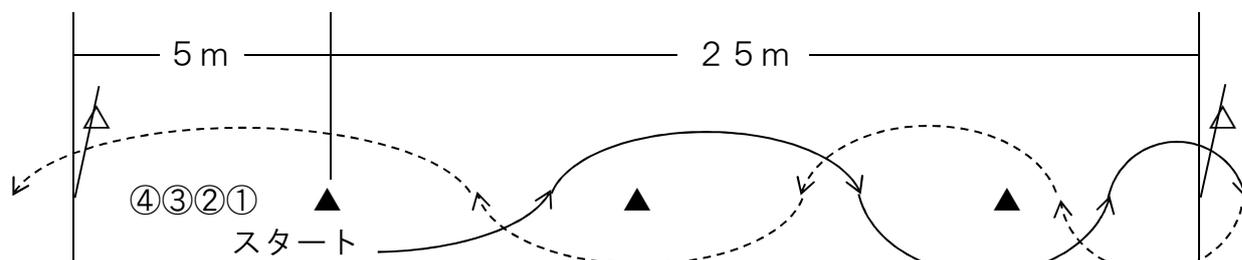
2 ジグザグボール蹴り競争

○開始予定時間 10：20

○出場者 小学生 男・女各1人 20歳以上 女2人 計4人

○競技方法 スタート地点から10mおきにコーナーポスト
走間25m 後5m

* 注意 1. 使用するボールは教育4号（ゴム製）とする。
2. 走る順番は各地域の自由

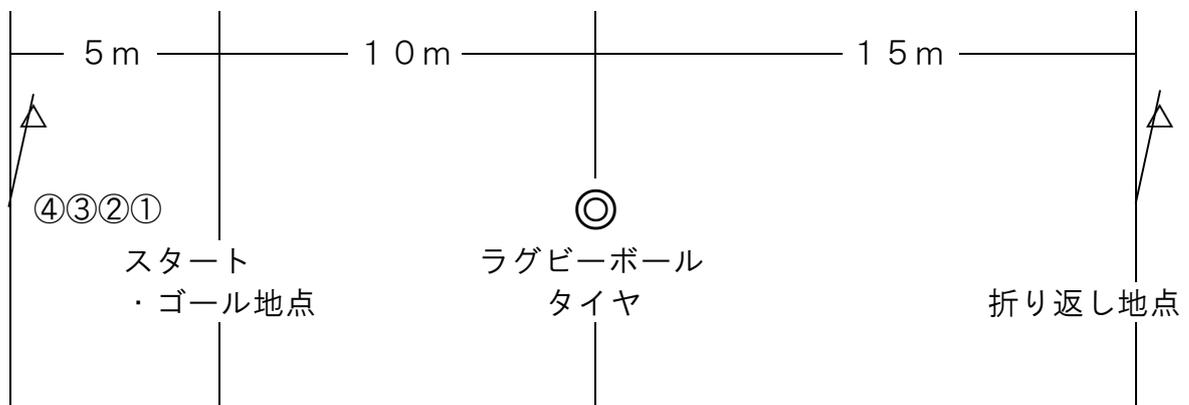




- (1) 走者は、サッカーボールをジグザグに蹴りながら往復し、スタートラインの後ろの旗を右から左回りに廻ってサッカーボールを次の走者に渡す。
- (2) 第1走者はコーナーポストの右側からスタートすることとし、ゴールはボール及び最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (3) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。
- (4) コーナーポスト及び折り返しの旗は、ジグザグに通過しなければならない。
- (5) 折り返し地点の旗は右廻り（時計廻り）、スタートライン後方の旗を廻る方向は左廻り（反時計廻り）となる。反対に廻った場合は失格となる。
- (6) 前・次走者とも、完全に5mのリレーゾーン内にいなければリレーできない。
- (7) ボールが観客席に入りそうな時は、役員がボールを止めて、その位置から競技を再開する。観客席に入って投げ返された場合は、審判は競技者の近くにボールを投げ返すことができる。

3 ラグビーボール蹴り競争

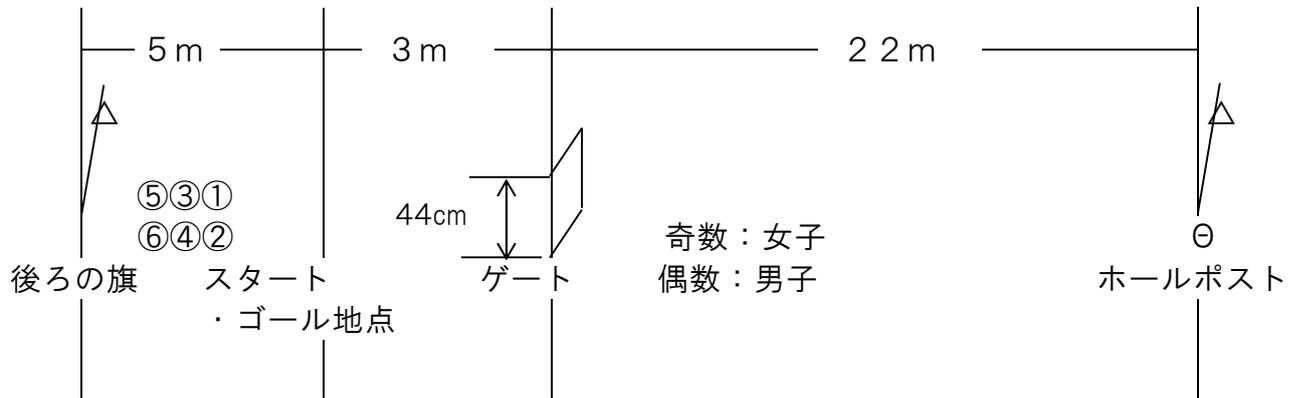
- 開始予定時間 10:35
- 出場者 40歳以上 男4人
- 競技方法 スタート地点から10mにタイヤ、ラグビーボール
走間25m 後5m



- (1) スタートしたら10m先のタイヤの中にあるラグビーボールを蹴りだし、15m先の旗を廻り蹴り出したタイヤの中にボールを入れ、スタートラインの後ろの旗を廻って次の走者にバトンを渡す。
- (2) 折り返し地点の旗の廻る方向は、自由とする。
- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (4) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (5) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。

4 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競争

- 開始予定時間 10:50
- 出場者 60歳以上 男・女各3人 計6人
- 競技方法 スタート地点から3mにゲート、22mにグラウンドゴルフホールポスト、ボールはゲートボールを使用
走間25m 後5m



- (1) 「位置について」で打つ人(打者)はボールを置き、打つ構えまで行って良い。ボールを受ける人(次打者)はゲート後方で構えても良い。
- (2) ①打者はスタートライン上から3m先のゲートに向けボールを打撃面で打ち、②次打者がゲート付近でボールが完全に通過するまで打者にボールを返す。打者はそのボールをスタートラインから前で受け取ることができる。ボールがゲートを通過したら、22m先のホールポストに向けホールインするまでボールを打つ。打者はホールインしたボールを拾い上げ、スタートラインの後ろの旗を廻り、スティックとボールを次の打者に手渡す。
- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (4) ゲート通過後ボールのスティックによる制御は自由です。(動いているボールを静止しても良い。スティックのどの部分で打っても良い。)
- (5) 打者はスタートラインから前でボールを打ってはならない。片足はラインから出ても良い。
- (6) 打者はゲートを通過後、ホールインするまで、手でボールに触れてはならない。ホールインとは、ホールポスト内で完全にボールが停止した状態をいう。まだ動いている状態で、ボールを拾い上げてはならない。
- (7) スタート順は、女子・男子の順番に競技する。順番の間違いは失格とする。
- (8) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。

5 400mリレー

- 開始予定時間 11:15 ○継走距離 400m
- 出場者 20歳以上・40歳以上 男各2人 計4人
- * 注意 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

☆ フライング・ディスク（オープン競技）

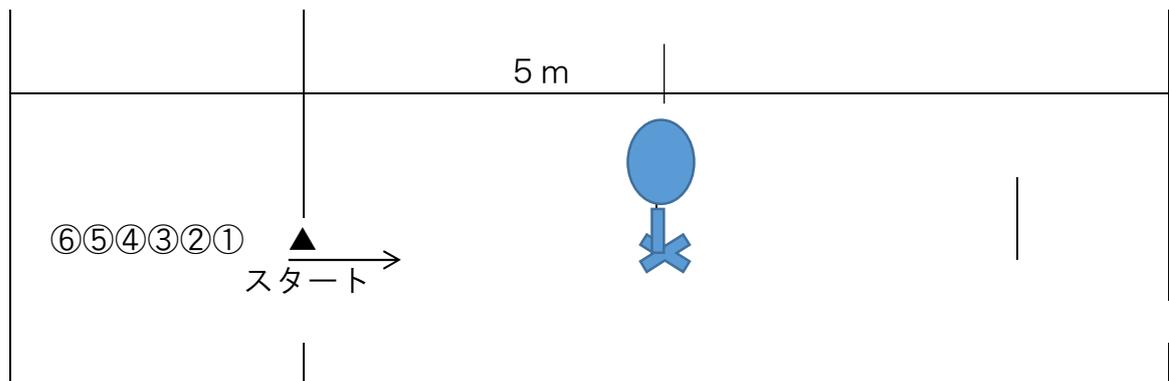
○開始予定時間 11:30

○出場者 三原市身体障害者福祉協会連合会から12人選出
各地区1人 計 30人

- * 注意
1. 1コースから順にAクラス、Bクラス、Cクラス、障害者福祉連合会①、障害者福祉連合会②とする。
 2. 人数に偏りがある場合には、事務局にて補充し、各コースが同人数となるように調整する。
 3. オープン競技のため、得点は付けない。

○競技方法 スタート地点から5メートル先にゴール
ゴールは、直径（内径）0.915mの円形で円形の下部は地面から0.61mの高さとする。

- (1) スタート地点から5m先にあるゴール（標的）に向かって、ディスクを一人10回連続して投げる。
- (2) 得点は、ディスクが、地面に触れず直接ゴール（標的）を通過した回数とする。



昼 食 休 憩

6 玉入れ競争

○開始予定時間 13:00

○出場者 年齢制限なし 女10人 男10人 計20人

○競技方法 高さ4.5m 45秒間 玉80個

- (1) C(女・男)・B(女・男)・A(女・男)の順に各1回行う。
- (2) スタートの合図とともに、竿持ち以外の人全員が1回1個投げることとする。(2個以上投げてはいけない。持つのも1個のみとする。)その後は自由とする。
- (3) 近隣の地区から転がってきた玉を、誤って自分のカゴに投げ入れた場合も有効。
- (4) 竿の位置は、各地区応援席前のフィールドとする。
- (5) 竿は主催者で用意する。
- (6) 玉は各地区で用意しても良い。(玉の大きさ、重さ等は自由、ボール類は禁止)
- (7) 竿持ちは2人以上、玉投げは8人以下とする。
- (8) 競技終了のピストルの合図後に入った玉は無効とする。
- (9) 竿は垂直に立てることとし、玉が入りやすいように故意に傾けてはならない。
- (10) 入退場は、応援席から直接行う。
- (11) 選手の数・玉の数等の確認は、各地区のスポーツ推進委員が行う。
- (12) 男女入れ替わり時は協力して玉を集める。

7 ボール運び競争

○開始予定時間 13:30

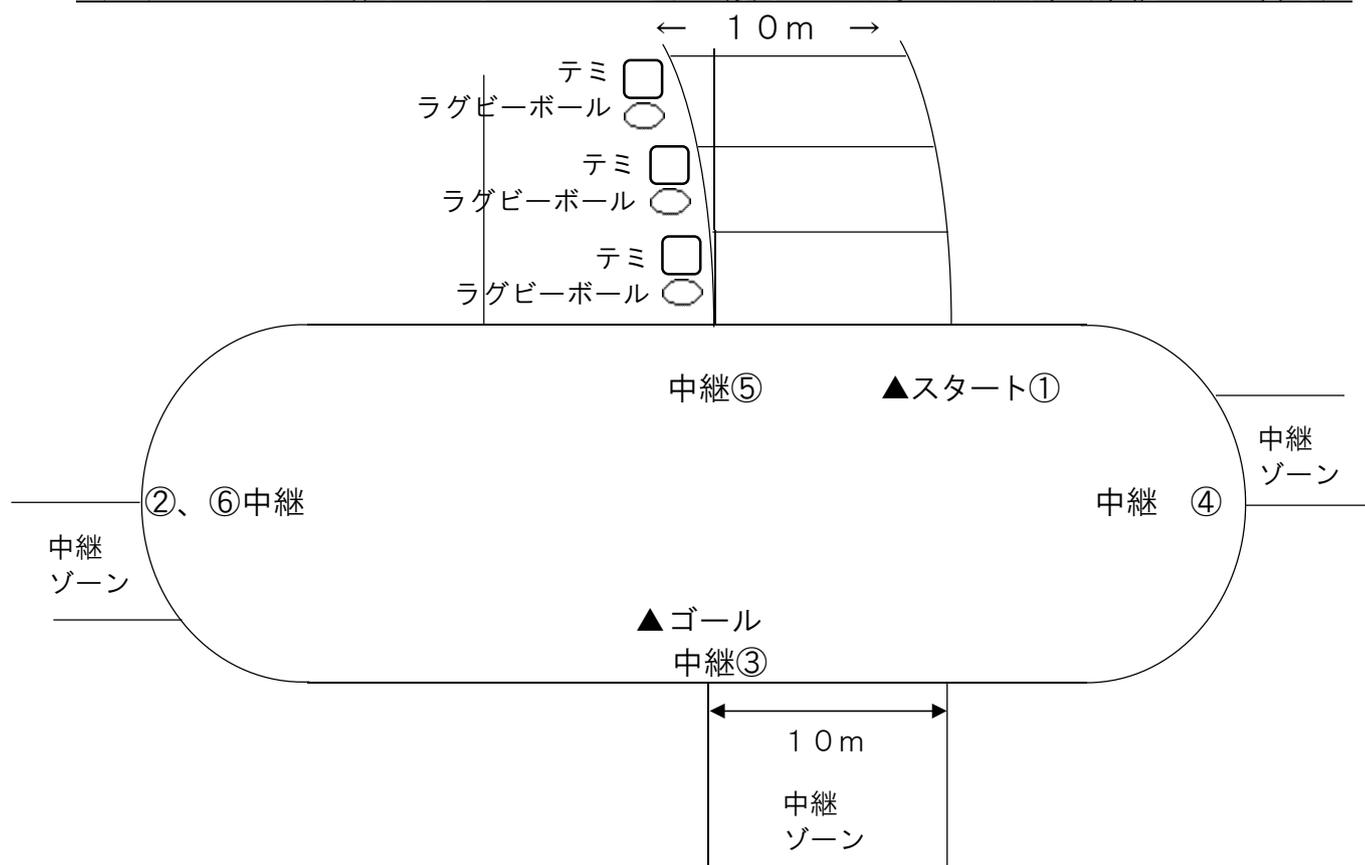
○出場者 男60歳以上3人 女50歳以上3人 計6人

* 注意 直接テミを持つことは禁止とする。

○競技方法 トラックでリレー形式により実施。ロープ(長さ1.5m)付きのテミにラグビーボールを乗せて1人50m走る。

- (1) テミにラグビーボールを入れ、テミからボールが落ちないようにロープを引っ張り1人50m走る。
- (2) ロープを引っ張る際は、ロープに取り付けられた塩ビパイプを持つ。(直接ロープを持つことは禁止とする。)
- (3) 第1走者のみ60m走る。スタートから10m離れた場所に置かれたテミにラグビーボールを走者自身で乗せ、残り50m走る。この時直接テミを持つことは禁止とする。なお、テミ・ラグビーボールは走順に置かれた場所のものを使用する。
- (4) テミからボールが落ちた場合は、ロープ及びテミを置いてボールを取りに行き、ボールをテミに入れてからロープを引っ張る。(故意にテミだけを引っ張り走った後ボールを取りに行くことや、ロープを持ったままボールを取りに行くことは禁止とする。)
- (5) ゴールは、最終走者のテミとボールがゴールラインに入った時とする。
- (6) 選手登録後でも走る順番は男女関係なく自由とする。
- (7) 直接テミを持つことは禁止とする。またボールを利用してテミの方向を変えることも禁止とする。直接テミを持って方向を変えた場合は失格とする。
- (8) ボールが落ちにくくなるよう、テミにボールを立てかけることは禁止とする。
- (9) 故意にテミを踏んだりするなど、走者を妨害した場合は失格とする。
- (10) 中継ゾーンは、中継地点から前方へ10m設ける。中継はテミが完全に中継ゾーンに入った状態で行うこと。

(11) テミから落ちていないボールを手で触ることは禁止とする。(中継ゾーン含む)



8 二人三脚むかで競争

- 開始予定時間 13:45 ○継走距離 500m
- 出場者 二人三脚競争 男・女20歳以上 各3人
むかで競争 男・女20歳以上 各5人 計16人
- 競技方法 二人三脚競争～男女ペア3組(100m×3組)
むかで競争～男女各5人組(100m×2組)

- (1) スタート順は、二人三脚ペア組、むかでは女・男の順番により競技する。順番の間違いは失格とする。(二人三脚ペア3組の走る順番は自由とする。)
- (2) スタートのみ、セパレートコースを使用する。
- (3) 二人三脚で足を固定するハチマキは、3組とも始めから結んでおく。
- (4) むかで競争の競技中、足を固定しているハチマキが切れた場合、あるいはほどけた場合、リレーゾーンに到達するまでは競技を続行することとする。なお、ハチマキが切れた場合は、リレーゾーン内でロープの取り替えを行うこと。
- (5) むかで競争で、女から男にリレーするときに、足を固定するハチマキを結び代えるが、その際はほどく側も結ぶ側も自力で行い、他人に手伝ってもらってはいけない。
- (6) タスキをバトンとし、二人三脚からむかで競争へのタスキ渡しは、最前列者に渡すこと。
- (7) 女性のむかから男性のむかにリレーする際のタスキ渡しは不要。(足を固定するハチマキがタスキの代わりとなる。)
- (8) 足を固定するハチマキは、故意にほどけやすいように緩く結んではならない。

(9) ゴールは、最後尾者がゴールラインを通過したときとする。

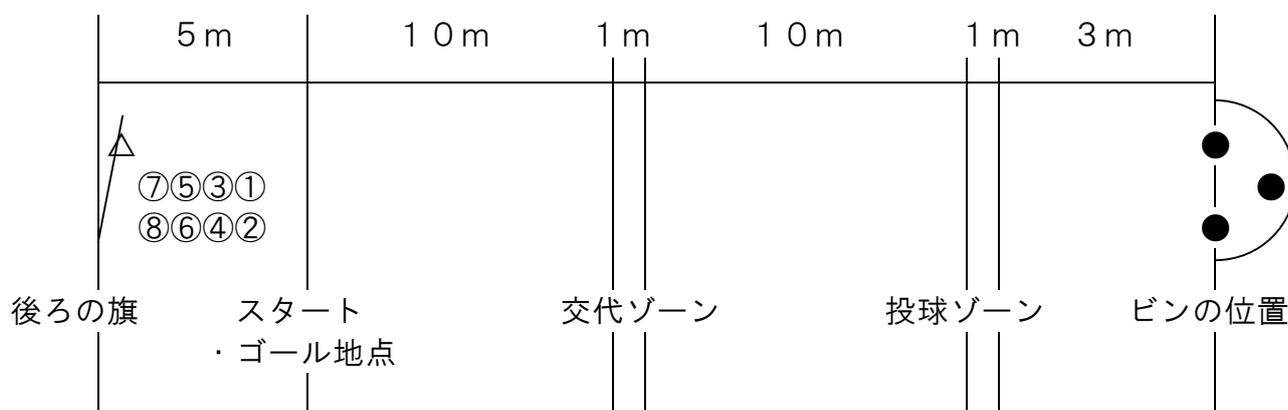
(10) ゴールの位置はスタートと反対側とする。

9 ボウリング競争

○開始予定時間 14:00

○出場者 女 20歳以上 8人

○競技方法 スタート地点から10mに交代ゾーン。走間20m+ビン3m 後5m



(1) バドミントンのラケットにバレーボールを載せる。

(2) ラケットは、グリップ部分以外を持ってはいけない。

(3) ①は②と連手して、スタートから10mに置かれた交代ゾーンに入る。

(ボールが途中で落ちた場合や手が離れた場合は、スタート地点まで戻り1から再度スタートする。)

(4) ①と②は、役割分担を交代して、さらに10m先の投球ゾーンまで行く。

(途中の失敗は交代ゾーンに戻り、再度スタートする。)

(5) 走者は、投球ゾーンに入るまでボールに触れてはならない。

(6) 投げ手は、いかなる場合も投球ゾーンから前には出てはならない。

(7) 投げ手・受け手は①・②どちらがなっても良い。

(8) 投球は、アンダースローで転がさなければならない。

ノーバウンドでビンに当たって倒れた時は、無効とする。

(9) 投げ手は投球ゾーンに、受け手はビンの後に立ち、投げ手の投げるボールによって、3本のビンが全部倒れるまでボールを返す。全部倒れたら受け手はビンを元の位置に立て、ラケットとボールを持ち、投球ゾーンで連手してゴールラインの後ろの旗を廻って次の組に渡す。

(10) 投球したボールが、自チームの選手や役員に触れた後にビンに当たり倒れた場合は無効。他のチームのボールにより倒れた場合は有効とする。

(11) 選手はビンが倒れるまでは、身体のどの部分もビンに触れてはならない。

ただし、正規の投球により倒れたビンは競技に有利にならない範囲（前列のビンを中心にした半径1mの白線の後ろ側）で移動させても良い。なお、移動させるときに、誤ってまだ立っているビンを倒した場合、受け手がもとの位置に立てることとする。

(12) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。

(13) ゴールは、連手した最終組の後ろの人の体がゴールラインに入った時とする。

(14) 投げ手と受け手は交代することができる。

交代する時は、受け手が投げ手のいる投球ゾーンへ入った後に、元の投げ手が受

け手の位置へつき、競技を再開する。

投げ手と受け手の交代する時のボールは、投げ手・受け手どちらがもっていてもよい。

10 総合リレー

○開始予定時間 14:25 ○継走距離 1、800m

○出場者 男10人・女8人 計18人

○走る順 (★印スタート本部側)

○走順が分かるように、No9の走者は青色、No13の走者は赤色、アンカーは黄色のタスキを着用すること。

	No	走者	性	距離		No	走者	性	距離
★	1	小学生	男	半周	★	11	16~30歳未満	男	半周
	2	〃	女	半周		12	〃	女	半周
★	3	〃	男	半周	★	13	30~50歳未満	男	半周
	4	〃	女	半周		14	〃	女	半周
★	5	中学生	男	半周	★	15	〃	男	半周
	6	〃	女	半周		16	〃	女	半周
★	7	〃	男	半周	★	17	50歳以上	男	半周
	8	〃	女	半周		18	〃	男	半周
★	9	16~30歳未満	男	半周					
	10	〃	女	半周					

最終判定

失格かどうかの判定は、審判長が決する。

その判定に不服の場合は、地区代表者が最終判定審判員に申し出る。

最終判定審判員は、地区代表者と審判長よりそれぞれ事情を聴取して判定する。

この判定は最終判定とする。

円滑な競技運営

競技の進行について遅滞する状況が生じてても、円滑な競技運営を図るために、順次競技を続行することとする。(荒天・事故等を除く。)

なお、この場合の決定は、閉会式までに行うこととする。

8 採点方法

(1) 組合せはAクラス 地区、Bクラス 地区、Cクラス 地区の 組に分ける。

(2) 各組で順位を決め、採点する。

(3) 得点 1位=5点 2位=4点 3位=3点 4位=2点 5位=1点

注意：同順位の場合は、両者の得点を合計して2で割る。

総合リレーは、上記の2倍とする。

(4) 参加点 競技に参加すれば、1種目につき参加点を1点とする。

この参加点は、(3)の得点に加える。

(5) 次年度の大会では、Aクラスの4、5位がBクラス、Bクラスの1、2位がAクラスとなる。また、Bクラスの4、5位はCクラスとなり、Cクラスの1、2位がB

クラスとなる。ただし、各クラスの地区数に不均衡が生じる場合は、変更する場合がある。

9 表 彰

(1) 地区対抗クラスの部（A・B・C各クラスごとに）

- ・ 1位 カップ・賞状・楯・賞金
- ・ 2位 賞状・楯・賞金
- ・ 3位 賞状・楯・賞金

※得点が同点の場合は、当日大会競技における1位の多いものを上位とする。

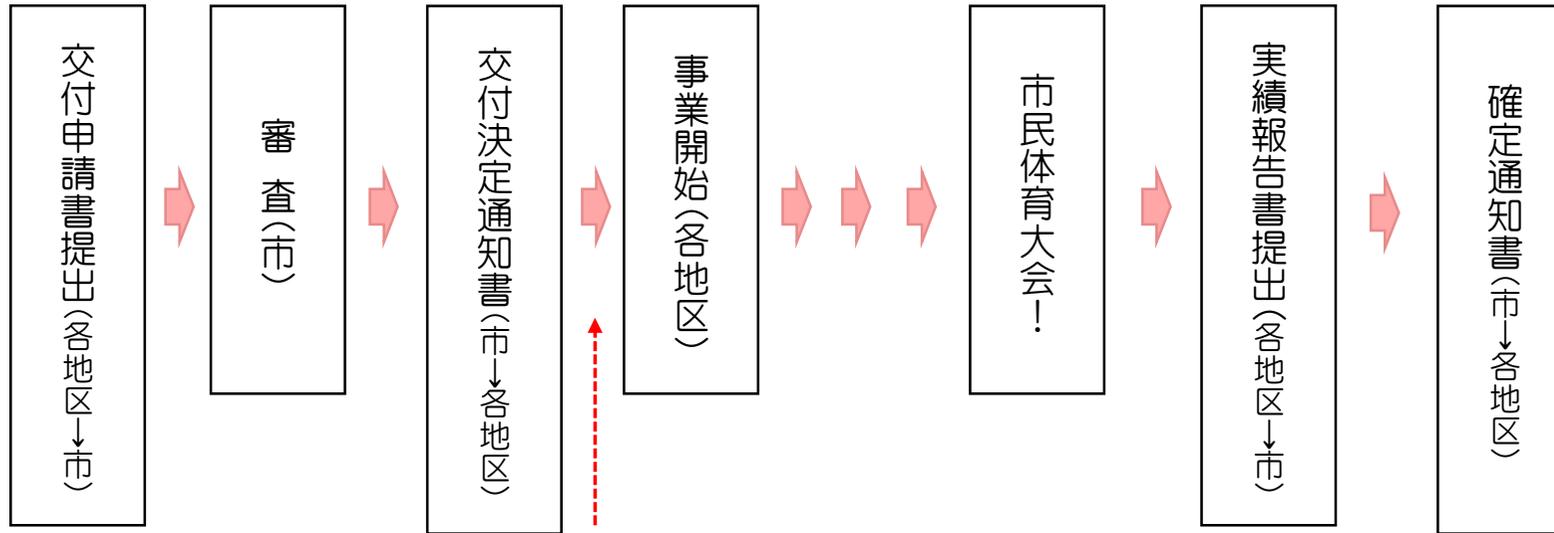
1位同数の場合は2位の多いものを上位として、以下これにならう。

10 参加選手

- (1) 出場選手は、1人何種目も兼ねてもよい。
- (2) 出場選手の資格は、9月29日までにその地区に住民登録し、居住している者。
- (3) 年齢は、満年齢により10月12日（大会当日）現在とする。
- (4) 補員は、各競技種目について2人以内とする。ただし、総合リレーについては、各区分に1人の補員を認める。（申込書の補員記入枠以内）
- (5) 正選手・補員以外は出場できない。
- (6) 鷺浦地区については、鷺浦小学校へ通う他地区の児童・保護者の参加を認める。
- (7) 参加人数が揃わない地区については、事務局へ相談の上、その地区へゆかりのある人及び家族の参加を認める。

11 注意事項

- (1) 選手名簿を作成するので、締切期日を厳守のこと。
- (2) 選手は、胸・背部に縦15cm×横20cmの地区名入りのゼッケン又は、地区名を明記したユニホームを着用すること。
- (3) 競技中の傷害などは、一応の応急措置はするが、それ以外の責任を負わない。健康に異常があるときは、参加してはならない。
- (4) 選手は、競技開始前20分に集合場所に集合を終え、点呼を受けること。
- (5) 継走種目の第1走者は、セパレートコースを走り、第2走者からオープンコースとする。
- (6) 各競技において、本要項の年齢等に該当しないものが出場した場合は、当該種目については失格するものとする。



注意：交付決定通知書交付後の経費が補助対象となります。

交付決定前に購入等されたものは補助対象となりません。

様式を電子ファイルでお送りすることができます。

補助対象となる経費（市民体育大会の参加に必要と認められる経費）

- ①報償費
- ②需用費
- ③役務費
- ④使用料及び賃借料
- ⑤備品購入費

詳細は資料4「令和7年度三原市民体育大会の補助金申請等の注意事項」でご説明いたします。

記入例

資料 2-2

様式第1号(第4条関係)

日付は空白で

令和7年 月 日

三原市長様

(地区名○○○○地区)

住所 三原市○○○○丁目○番○号

申請者氏名(代表者) ○ ○ ○ ○ 印

令和7年度補助金等交付申請書

地区代表者名

令和7年度三原市民体育大会参加地区補助金の交付を受けたいので、三原市民体育大会参加地区補助金交付要綱の規定により関係書類を添えて下記のとおり申請します。

なお、補助金の交付が決定されたときは、同要綱の規定に従うことを誓約します。

記

1 補助事業の名称

(1) 事業名 第17回三原市民体育大会

2 補助事業の目的及び内容

(1) 目的 三原市民体育大会実施に伴う参加費用の補助

(2) 内容 第17回三原市民体育大会に○○○○地区として参加

3 補助事業の実施計画及び完了の予定期日

イ) 実施計画 令和7年10月12日(日)開催の第17回三原市民体育大会に、地区代表選手と共に出場参加する。

ロ) 事業完了予定日 令和7年10月12日(日)

4 交付申請額

(項)	(節の説明)	(市費)
保健体育費	市民体育大会参加地区補助金	200,000円

5 交付申請額の算出方法

事業費	補助等基本額	補助率	補助又は負担金額
(収支予算書の支出額計)	(事業費(左欄)と同額)	定額	200,000

6 補助事業の経費の配分及び経費の使用方法

経費の配分	経費の使用方法		
	自主実施	委託実施	計
(空白)	(事業費と同額)	0	(事業費と同額)

(注) 補助事業者の予算書又は支出計画書を添付すること。

記入例

収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	備 考
市補助金	200,000	
賞 金		成績上位：1位 5,000 2位 4,000 3位 3,000
町内会・地区 負担金		
計		

2 支出の部

(単位：円)

費 目	内 容	予 算 額	内 訳
需用費	お弁当・飲物代		弁当 飲物
需用費	×練習参加費→○練習時飲み物代		飲物
使用料及び賃借料	会場使用料		○○公民館 (R7.9.10)
役務費	傷害保険料		○○○円×○○○人
役務費	クリーニング代		○○○円×○○○枚
需用費	×反省会費→○反省会飲み物代		○○○○円×○○人 ※酒を伴う場合は対象外です
備品購入費	クーラーボックス		○○○円×○個
需用費	大会参加賞のお菓子		○○○円×○○人
使用料及び賃借料	車両借上料		○○○○円×○台
需用費	印刷代		コピー代 ○○○円
計			

区分に「予備費」は記入しないでください。

※収入の部と、支出の部の合計は同額となる。

～補助金交付申請書から実績報告書について①～

- ① 補助金交付決定前の領収日のものについては、補助対象経費にすることはできません。早期に事業にとりかかる場合は、提出期限を待たず、速やかに提出してください。
- ② 領収書をもらう際には、宛名に〇〇地区 代表〇〇、内容（何を購入したか）、領収日、購入先が抜けてないかを確認してください。また長いレシートは切らないでください。また、領収書添付用台紙に費目毎に添付してください。なお、提出する領収書はコピーでかまいません。原本は各団体で保存しておいてください。
- ③ 酒を伴う反省会費や酒類の購入は補助対象になりません。
- ④ 収支予算書の支出の部については、内容をできるだけ詳しく記入してください。



～補助金交付申請書から実績報告について②～

- ⑤ 明細書は不可です。領収書（レシート）を添付してください。
- ⑥ ネット購入の場合でも領収書は作成されます。購入先のページをご確認ください。カードによる支払いについては、購入内容・支払日の分かるものを添付してください。
- ⑦ 領収書には必ず番号を付けてください。領収書は添付用台紙に費目ごと（需用費等）、～代ごとに添付してください。
費目（需用費等）が異なる場合で、領収書に複数の対象経費がある場合は、該当する領収書をコピーしてください。
収入と支出の合計額が原則同額になるように記入してください。
- ⑧ 三原市が実施する、他の助成制度等の補助を受けているものは補助対象になりません。
※住民組織活動補助金など²



～収支作成における費目の詳細①～

- ① 報償費
役務の提供や施設の利用などによって受けた利益に対する代償。
例：講演会、講習会等の講師への謝礼
- ② 需用費
物品の取得及び修理等に対する経費。消耗品費、燃料費、食料費、印刷代、光熱水費等
例：各種事務用品代（ボールペン等）、封筒代、ガソリン代、お弁当代、飲料代、氷、会議用の茶菓子代、コピー代 等
- ③ 役務費
人的サービスの提供に対して支払われる費用。
例：クリーニング代、電話代、保険料 等



～収支作成における費目の詳細②～

- ① 使用料及び賃借料
賃貸借契約に基づいて、その対価として支払われる金銭
例：会場借上料、駐車場使用料、バス借り上げ料
- ② 備品購入費
需用費を除いた物品の購入に要する経費（比較的長期間使用できるもの）
例：クーラーボックス 等
- ※ 以上、申請書の記入方法や経費の分類等、
ご不明な点があればスポーツ振興課（0848-64-7219）
亀谷までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。



記入例

資料 2 - 5

請 求 書

請求金額	¥	記入しないでください										
内 訳	第 1 7 回三原市民体育大会 _____ の部 _____ 位 賞金											
三 原 市 長 様 地区名 _____ 地区 _____ 代表者住所 三原市 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 上 _____ 代 表 者 _____ ⑩ 記入しないでください												
振 込 先	フリガナ	_____									地区代表者名	_____
	口座名義人		_____									
	金融 機関	金融 機関名	銀行・信用金庫 農 協・信用組合						支店名	_____		
		預金 種目	1. 普通・総合 2. 当座 4. 貯蓄 9. その他 ()						口座番号	_____	_____	_____
ゆうちょ銀行	記 号	_____	_____	_____	_____	番 号	_____	_____	_____	_____	_____	

第17回三原市民体育大会（令和7年10月12日） バス配車・責任者確認表

（ 三原 地区）

バス配車責任者 氏 名 （ 山田 太郎 ）

緊急連絡先（自宅：0000-00-0000 ）

（携帯： 080-0000-0000 ）

※緊急連絡先はバス会社に提出しますのでご了承ください。

バス会社は未定

	配車時間・場所	出発時間・場所	運動公園着
往	時間（ 7：20 ） 場所（ひまわり江南店）	時間（ 7：30 ） 場所（ひまわり江南店）	時間（ 8：30 ） 場所（ 運動公園 ）
復	時間（ 14：40 ） 場所（ 運動公園 ）	時間（ 15：30 ） 場所（ 運動公園 ）	

※当てはまる物に○をしてください。経路に変更がある場合は経路を明記してください。

(1) バスの種類（ 大型 ） ・ 中型 ・ 小型 ）

(2) 途中のバス停での乗降 有 ・ 無 ）
乗降場所（ 田之浦バス路線の全てのバス停 ）
（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

(3) 経路（ 前回と同様 ） ・ 前回から変更 ）

変更の場合の経路（ ）

第16回三原市民体育大会(令和6年10月13日) バス配車状況

地区名	バス種類	往路						復路	
		配車		出発		運動公園着	途中乗降	運動公園発	
		時間	場所	時間	場所	時間	有	配車時間	出発時間
深町	中型	7:20	深下組	7:40	深下組	8:20	有	14:40	15:30
中之町	大型	7:20	別所	7:40	別所	8:00	有	14:40	15:30
西野	中型	7:40	梅観橋	8:00	梅観橋	8:30	有	15:00	15:30
田野浦	大型	7:20	ひまわり江南店	7:30	ひまわり江南店	8:30	有	15:00	15:40
須波	大型	8:00	須波ハイツ公園前	8:00	須波ハイツ公園前	8:40	有	14:40	15:30
皆実	大型	7:50	ザクザク皆実店南側市道	8:00	ザクザク皆実店南側市道	8:40	無	14:40	15:30
糸崎・木原	中型	7:20	上福地バス停	7:45	上福地バス停	8:50	有	14:40	15:30
本郷東	中型	7:50	本郷生涯学習センター	8:00	本郷生涯学習センター	8:30	無	14:30	15:10
三原北部	中型	7:50	久井文化センター	8:00	久井文化センター	8:10	無	14:40	15:30
大和	大型	6:50	榎梨公民館	7:00	榎梨公民館	8:30	有	15:00	15:30

※ 昨年度のもので。参考にしてください。

様式第6号(第15条関係)

日付は空白で

令和7年 月 日

三原市長様

(地区名 _____ 地区)

住所 三原市 _____

申請者氏名(代表者) _____ 印

地区代表者名

記入しない

令和7年度補助事業完了実績報告書

令和7年 月 日付け三教委ス指令第 _____ 号により補助金の交付の決定通知を受けた標記の事業が完了したので三原市民体育大会参加地区補助金交付要綱の規定により関係書類を添えて下記のとおり

記入しない

- 1 補助事業等の名称
事業名 第17回三原市民体育大会
- 2 補助事業等の内容
目的 三原市民体育大会実施にともなう参加費用の補助
内容 第17回三原市民体育大会に _____ 地区として参加
- 3 補助事業等に要した経費及び補助金等の額
要した経費 _____ 円
補助金 200,000円
- 4 補助事業の収支決算
収入総額 _____ 円
支出総額 _____ 円
収支差引額 0円

収支決算書の
支出額計

原則、収支差引額が
0円となります

収 支 決 算 書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	A 決 算 額	B 予 算 額	比較A－B		備 考
			増	減	
市補助金	200,000	200,000	0	0	
賞 金					
町内会・地区 負担金	30,000				
計	230,000	200,000	30,000		

2 支出の部

(単位：円)

費 目	内 容	A 決 算 額	B 予 算 額	比較A－B		内 訳	領収書 等番号
				増	減		
需用費	お弁当・飲み物代	115,000	100,000	15,000		お弁当×770円×150個	①
需用費	練習時飲み物代	330	660		330	飲物66円×5本	②④⑥
使用料及び賃借料	会場使用料	2,530	1,000	1,530		〇〇公民館 (R7.9.10)	⑤
役務費	傷害保険料	3,000	3,000			200円×15人	③
役務費	クリーニング代	38,000	20,000	18,000		1,000円×38枚	⑦
需用費	反省会飲み物代	3,000	3,000			150円×20本	⑬
備品購入費	クーラーボックス	10,000	10,000			10,000円×1個	予算書と同様に、内訳がわかるよう、できるだけ詳しく書いてください。 酒を伴う反省会費や酒類の購入については対象外です。
需用費	大会参加賞のお菓子	3,000	3,000			300×10人	
使用料及び賃借料	車輛借上料	55,000	59,200			55,000円×1台	
需用費	印刷代	140	140			コピー代 140円	
計		230,000	200,000	30,000			

※収入の部と支出の部の合計は同額となる。

領収書添付用（参考）（ 地区）

報償費 ・ 需用費 ・ 役務費 ・ 使用料及び賃借料 ・ 備品購入費

○領収書の場合

領 収 証
年 月 日
〇〇地区 代表〇〇 様
〇 〇 円
①
内 訳 〇〇代

補助金交付決定日以前の領収証は対象外です。

○レシートの場合

領 収 証
〇〇地区（代表〇〇） 様
年 月 日
..... 円
..... 円 ②
..... 円
..... 円
合計 〇〇 円

費目（需用費等）が異なる場合で、領収書に複数の事業対象経費がある場合は、該当する領収書をコピーして添付してください。

(代)

令和7年度 各種スポーツ大会等日程表

令和7年4月27日現在

	大会名	開催日	会場
1	「わくわく体験テーマパーク事業」 スポーツのテーマパークinみはら 屋外編	5月10日(土)	やまみ三原運動公園
2	第21回三原市民ゲートボール大会	6月5日(木)	須波ゲートボール場
3	「わくわく体験テーマパーク事業」 スポーツのテーマパークinみはら 屋内編	6月7日(土)	三原リージョンプラザ・三原市武道館・南小学校
4	JBCF 2025 山陽建設 広島三原ロードレース	7月5日(土)	広島県立中央森林公園
5	三原市制施行20周年記念 第17回三原市民体育大会	10月12日(日)	やまみ三原運動公園
6	第42回白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会	11月2日(日)	白竜湖スポーツ村公園 総合運動場
7	ファンライドみはらin中央森林公園2025	11月16日(日)	広島県立中央森林公園
8	第21回三原市民ビーチボールバレー大会	令和8年3月1日(日)	三原リージョンプラザ
9	さぎしまサイクルツーリング2026	令和8年3月上旬	佐木島
10	第38回三原市民グラウンド・ゴルフ選手権大会	令和8年3月12日(木) (予備日:3月13日(金))	やまみ三原運動公園 陸上競技場

※各行事の詳細は、随時市のホームページ等でお知らせします。